



学校通信

えがおのさくらっ子

令和7年9月17日

寒川小学校

No. 15



愛護班別人権・同和教育研修会 9/12(金)16(月)

安心して自分らしく生きる寒川の子を育てる！ 一人の百歩よりも百人の一步

6年生保護者学習会(8月29日)、愛護班別人権・同和教育研修会(9月12日・16日)への保護者の皆様のご参加ありがとうございました。

保護者の皆様と教職員が手を取り合って、「心豊かな寒川の子を育てよう、自分や周りの人を大切にする子を育てよう！」の共通の願いで、研修会を行いました。寒川地区は、毎年、全家庭が参加して、人権の学びを行う意識の高い校区であることがすばらしいです。その積み重ねの成果として、寒川小学校の子どもたちの周りの人を大切にする言葉かけや相手を思いやる行動をたくさん目にし、更に感心しています。

『**『ありのままの自分が好き』～自己肯定感の高め方について考えよう～**』をテーマに動画を視聴し、地区別に話し合いを行いました。インパクトのある動画でとても身近で引き込まれる内容でした。子育てにすぐに生かせる具体的なアドバイスもありました。私たち教員も実践していきます。おうちの方と足並みを揃えて、子どもたちの自己肯定感を高め、心豊かな人生が送れるように育てていきましょう。9月24日に行う「**さくらっ子集会**」でも、6年生が自己肯定感をテーマとして「**ぼく・わたしのすてきなところ**」と題した人権劇を中心に、集会活動を行い、全校児童に発信します。ぜひご参加ください。そして、おうちでも、班別研修での学びを基に、子どもたちの学びを支えください。今回の保護者の皆様の感想は、PTA 人権・同和教育部の役員の皆さんが「**陽だまり通信**」にまとめてくださるになっています。

自己肯定感を育てる5つのポイント

- ①失敗は宝
- ②親の顔色をうかがわせない
- ③話を聴いてあげられる
- ④親も自分の人生を楽しむ
- ⑤親自身の自己肯定感を上げる



造形活動の日 9/8(月)

全校児童が、それぞれの学年のテーマで、午前中、造形活動に取り組みました。寒川漁港や新長谷寺に出かけて写生したり、自分で採った虫を絵に描いたり、想像をふくらませて色を選び、自由に絵を描いていったりと、楽しい学びのある造形活動の日となりました。



にじいろのさかなをかこう



虫となかよし



あの日あの時の思い出



忘れられない気持ち



新長谷寺



寒川漁港

作品は10月7日の防災参観日に掲示する予定です。
お楽しみに！

自分らしく！
思いっきり！